

保護者向け児童発達支援評価表

公表日：令和3年12月16日

事業所名：児童発達支援事業所そよかぜ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	1	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	3	
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	22		
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	3	
	6	保育園や児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	12	2
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21		1
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	7	1
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	13	4
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	6	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	2	
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	22		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	5	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	5	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	22		
	18	事業所の支援に満足しているか	22		
送迎対応	19	送迎は正しく行われているか	11		
療育	20	事業所における療育は役に立っているか	11		
	21	今後やってほしい療育はあるか	5	3	3

事業者向け

児童発達支援自己評価表(そよかぜ)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	児童1人当たりのスペースは、事業代指定基準を満たしています。	
	2 職員の配置数は適切である	4	1	加配のスタッフを配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	不必要な掲示や、視覚的な刺激を抑えた室内に配慮し、遊びや活動に集中できる空間づくりに努めています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	感染症等への予防として、事業所内の抗ウイルス・抗菌コーティングを施工しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	課題や問題点などを、提起しやすい職場の雰囲気づくりに努めています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	今年度、開所から半年ほど経った11月に、初めての保護者向けの評価(アンケート)を実施しています。	頂きました貴重なご意見につきましては、今後の改善の参考とさせていただきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	12月に公開致します。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	現時点では、外部評価を取り入れることは予定しておりません。法人全体での検討課題と考えています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部研修、法人内部研修に取り組んでいます。	非常勤職員のための研修機会の拡充が必要と考えており、今後の課題となっています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	ご家族様に対して、ご利用前の面談を行い、お子様の様子についてアセスメントを実施しております。その内容をもとに、個別の支援計画を作成しております。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	事業所独自では実施していません。	医療機関による発達検査等をご提出していただくことで、より確かな状況把握に努めています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	「発達支援」を主として、健康・生活、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の面から、発達ニーズをとらえ、個別の支援目標、内容を設定しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	常に、支援目標に沿った関わりを持ち、利用日ごとに評価を行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	療育、保育の両面から、複数の職員による立案がなされています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	ひとり一人の児童に対して、活動内容の偏りがないように配慮しており、年間計画を基にした月毎の活動プログラムを作成しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	児童の年齢、発達の程度や障害特性を考慮しながら、個別の課題や集団活動を取り入れています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	職員間で活動前の確認を行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	支援内容についての振り返りや、反省点などについて共有しています。	十分な時間の確保が必要と感じることも多く、業務の効率化、人員の充足も含めた課題として検討しています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	ご家族への報告も兼ねた支援の記録をおこなっています。評価も行いながら、次の支援へとつなげるよう努めています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年ごとのモニタリングを実施し、計画の見直しや支援の継続についての評価に取り組んでいます。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2	現時点では、感染症の影響もあり、会議の開催は控えられている状況とされます。	相談支援事業所とは、日頃より連携が取れており、今後も継続していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	対象となる児童については、連携を取りながら状況の把握に取り組んでいます。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	当事業所は、医療的ケア児の受け入れは対象外となっております。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5	当事業所は、医療的ケア児の受け入れは対象外となっております。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	令和3年4月に開所したため、現時点では移行支援の実績がありません。	今後、関係先からの要請等に対しては、積極的に対応していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	5	令和3年4月に開所したため、現時点では移行支援の実績がありません。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	当法人の障害部門(児童発達支援事業所)全体で、専門機関の講師による研修を受けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	当事業所をご利用いただく児童については、保育園や幼稚園との並行通園児が大半を占めており、障害の特性等を踏まえても、当事業所においても交流の場を設定する必要はないものと判断しています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5	現在、開催自体が控えられていることもあり、参加しておりません。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	日々の状況については、HUG(ハグ)にてお伝えしています。保育所等への送迎により、共通理解に関しては難しい状況です。	ご家族からのコメントや、直接お話をいただけていることに、大変感謝しております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	5	ご家族からの個別の相談等については可能な限り対応していますが、プログラム化されたペア・トレへの対応は難しい状況です。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に、説明させていただいております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	個別支援計画の原案に了承頂いた上で、計画への同意を頂いています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	半年ごとのモニタリング以外においても、ご相談は随時受け付けています。お電話やHUGでも結構です。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	父母の会はございません。	感染症対策の面からも、当面は控えたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	送迎時の対面だけでなく、電話やHUGからも受け付けています。また、緊急時や営業時間外のご連絡には、事業所の携帯電話にて受け付けています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	活動概要及び行事予定等につきましては、HUGにてお知らせしております。連絡体制についても、HUGをご利用いただいております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	鍵付き書庫への保管のほか、ご家族の許可なく情報の提供は致しておりません。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	開催していません。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2		ホームページからの閲覧について、検討します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	にしのまち保育園と合同で取り組んでいます。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	初回の面談において、確認させて頂いています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	ご家族からの申し出に基づき、対応いたします。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	責任者が外部研修への参加し、事業所内研修に取り組んでいます。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	身体拘束の対象児童はいませんが、法人の規定に基づき、面談時にご家族へ説明しています。	